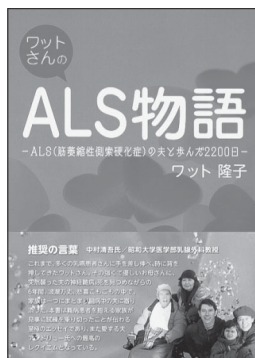


今月の3冊プラス1



ワットさんの ALS 物語

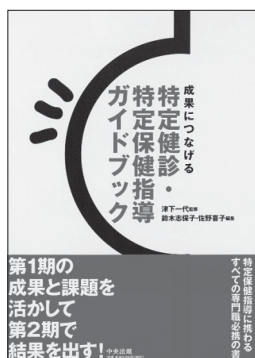
ALS(筋萎縮性側索硬化症)の夫と歩んだ 2200 日

著：ワット隆子

発行：ヴィゴラス・メド TEL：03-5777-2455

定価：本体 1500 円＋税

乳がん患者会「あけぼの会」の主宰者として知られるワット隆子氏。彼女の夫である「ワットさん」の6年にわたるALSの日々を綴る。かけがえのない家族の命でありながら、長い介護は大きな負担となる。家族の1人ひとりが大きな不安と、迷いと、愛情とを心に抱きながら大きな決断を下した日々を振り返る。



成果につなげる特定健診・特定保健指導ガイドブック

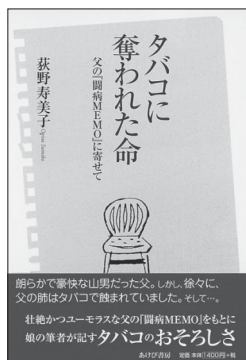
監修：津下一代

編：鈴木志保子／佐野喜子

発行：中央法規出版 TEL：03-3379-3861

定価：本体 3000 円＋税

特定健診・特定保健指導の導入により、「生活習慣を改善できて、健診結果が前年度よりもよくなった」という声が聞かれるなど、結果が少しずつ見えるようになったいま、「成果につなげる保健指導」をさらに一歩進めるべく、本書が編まれた。意欲の低い対象者や、制度に否定的な医療職への対応、特定保健指導と地域づくりの連動など、健診・保健指導の最前線にいる関係職種に向けて解説する1冊。



タバコに奪われた命

父の『闘病 MEMO』に寄せて

著：荻野寿美子

発行：あけび書房 TEL：03-3234-2571

定価：本体 1400 円＋税

「酒とタバコで死ぬのなら本望」と言い切った著者の父は、特発性間質性肺炎からタバコが吸えない状態になって緊急入院。2か月の闘病の後の永眠。最期までユーモアを忘れない「お父さん」であったがゆえに、ことさら辛い別れとなった。1人の喫煙習慣が周囲の人間に影響を及ぼす。著者は苦しむのは喫煙者本人だけではないことを訴える。



セラピスト

著：最相葉月

発行：新潮社 TEL：03-3266-5111

定価：本体 1800 円＋税

最相葉月が今回新たに向き合ったテーマは「カウンセリング」。心理療法の主体が治療者から患者へ移るにつれ、患者へのアプローチは変化を強制するものではなく、治療者は患者を支援し治療の過程の中の「沈黙」を見守る。河合隼雄と中井久夫という2人の巨星を追いつつ、著者自らカウンセリングを学び、心の治療のあり方を問う。

手軽な
プラス
1